



令和3年12月17日編集・発行 東大淀小学校 泉 恵子

早いもので今年も残り2週間余りとなりました。令和3年も、新型コロナウイルスへの対応に追われ、先が見えない1年でした。それでも、昨年よりは取るべき感染予防対策が明らかになり、行事や学習活動も広がっています。コロナ禍で様々な行事が縮小や中止されてしまうことが続いていましたが、12月4日(土)の土曜参観では、多くの保護者の皆様にご参観いただき有難うございました。おうちの方に見ていただいて、子どもたちは少し緊張しつつも、とても嬉しそうでした。また5、6年生は久しぶりにまちづくり協議会の方々のご協力をいただき、餅つきを体験させていただきました。貴重な体験にご協力くださったPTA役員の皆様をはじめ、地域の皆様有難うございました。子どもたちは様々な人とかわりながら、社会の知識や社会で自立して生き抜くために必要な基礎を培っていきます。コロナ禍で様々な活動が制限される中、運動会や業間ジョギング、たてわり班などで頑張る子どもたちの姿、保護者、地域の皆様の様子を見て、改めて人と人との「かわり」の大切さを実感し、小学校教育の原点を感じることができました。22日(水)～23日(木)は、ご希望の方に個別面談を実施させていただきます。短時間ではありますが、お子さんの生活・学習の様子について情報交換を行い、よりよい教育に努めていきたいと考えています。

12月4日(土)公開授業・児童の作品



<1年生クリスマスツリー>



<2年生手作りカードで遊ぼう>



<3年生お面>



<4年生コリントゲーム>



<5年生風船ランプシェード>



<6年生12年後の私>

<お詫び>

- ・12月4日は学校公開日です。一家族2名までと制限を設けさせていただき、地区別で参観時間も割り振らせていただきました。5.6年生につきましては、予定より早く餅つきが終了して、4限目には教科の授業参観となりました。お詫び申し上げます。

<お礼>

- ・学校評価アンケートにご協力いただき有難うございました。アンケート結果は昨日お子様を通じて配布させていただきました。今後の学校改善につなげてまいりたいと思います。

公開授業・餅つきの様子



・餅つきは沢山の人が手伝ってくれました。僕は沢山の人がいないとこの餅つきが出来ないと感じました。地域のいっぱいの人と一緒に協力してくれたからできたと思います。一人では絶対できない事です。これからも人と協力して一杯いろんなことをしたいです。(児童の感想より)

「下校中の大地震と津波 避難訓練を行いました」

8日(水)に下校における、地震と津波による避難訓練を行いました。町内放送をお借りして、一旦地区別一斉下校を開始した後に緊急地震速報を流させていただき、安全な場所で「ダンゴムシ姿勢」の確認をしました。その後「津波の危険があります。直ぐに小学校へ避難しましょう」という放送を聞き、真剣な態度で速やかに小学校の屋上に避難することができました。「今後、南海トラフ・東南海地震が起こる可能性が高まっている事。大きな揺れの後には必ず津波を考える事。安全な高台へ落ち着いて避難する事。家の方と必ず避難場所の確認をすること。」等お話をさせていただきました。その後6年生が10月にまちづくり協議会の方々にライフジャケットの着用の仕方を学びましたので、全児童の前で見本を見せてもらいました。屋上は強風が吹き厳しい環境でしたが、6年生は素早く正しく着用することができました。お見事でした。この避難訓練の様子は当日NHK「まるっと三重」で放映されました。又ZTVでは13日(月)より3日間「いせトピ」という番組で3日間放映されました。



(中日新聞に掲載 ダンゴムシ姿勢)



(ライフジャケット着用の6年生)



皇學館大学生物学ゼミのお兄さんお姉さんによる出前授業

8日(水)4年生は皇學館大学、生物学ゼミのお兄さんお姉さんに、大学で飼育している昆虫を使い、実験を通して楽しみながら理科について学ぶ授業を行っていただきました。児童はアワヨトウの幼虫を手に乗せて、「かわいい」と感想を述べていました。その幼虫の体内に、カリヤサムライコマユバチが卵を産みつける実験で、実物の成虫を怖がることなく、興味深く見つめていました。稲やトウモロコシを守るカリヤサムライコマユバチの存在は、農業にだけに頼らない、農業の在り方も示唆してくれました。

